

社会基盤設計演習

－ミニ橋梁の設計から製作までの支援－

○友田祐一^{A)}、戸田善統^{A)}、仲間祐貴^{A)}

^{A)}環境建設技術系

1 はじめに

社会基盤設計演習としてミニ橋梁の設計から製作までの支援を行なった。その成果として、夢科学探検と2010年9月に愛知工業大学で開催された「スチールブリッジコンペティション2010」に学部3年生と山尾・葛西研究室の学生が参加した。

指導教員：山尾敏孝、葛西 昭

設計・製作支援担当者：友田祐一、戸田善統、仲間祐貴

2 内容

「スチールブリッジコンペティション2010」は、13大学（15チーム）が参加し、製作した橋梁を組み立てて競う大会となっており、施工→載荷試験→美観審査が行われる。橋梁は、スパン3メートル、幅60cmの規定があり鋼材を用いて製作した。橋梁の部材は、分解した状態から組み立てることになっており施工時間は30分以内の制限がある。載荷試験は400kg載荷時のたわみが6mm以内の制限が設けられている。大会の結果は以下ようになった。

美観部門1位、プレゼンテーション部門4、位架設部門7位、構造部門6位、総合5位

詳細はこちら、<http://www.civil.kumamoto-u.ac.jp/str/achievement/y2010/burikon/burikon.html>